



とある村

まさか桐生院の
当主殿が来られるとは

我が家の者が事に携わ^{たずさ}っておきながら
未だに鬼の討伐に至れないとは

申し開きのしようも
ございません

鬼狩り名門桐生院家当主
桐生院 刹那

いえいえ
それよりも鬼狩りの娘さん
の安否が気掛かりで・・・

無事だと良いんですが・・・

村長



おつと
大丈夫ですか？

カラ

？何だ
身体に力が入らない・・・

？

どうなされました？
当主殿

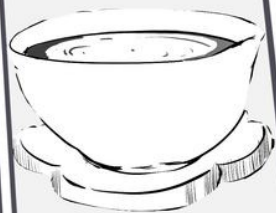
眠気が・・・

トコ

田舎の山道で
お疲れになりましたか

鬼退治は後にして
今日は休まれた方がいいでしょう

直ぐに床を
用意しますゆえ



ゆつくり
おやすみ下さい

ギョ



こゝは・・・



んっ・・・



村長・・・

これは一体
どう言う事ですか？



お目覚めですか
当主殿

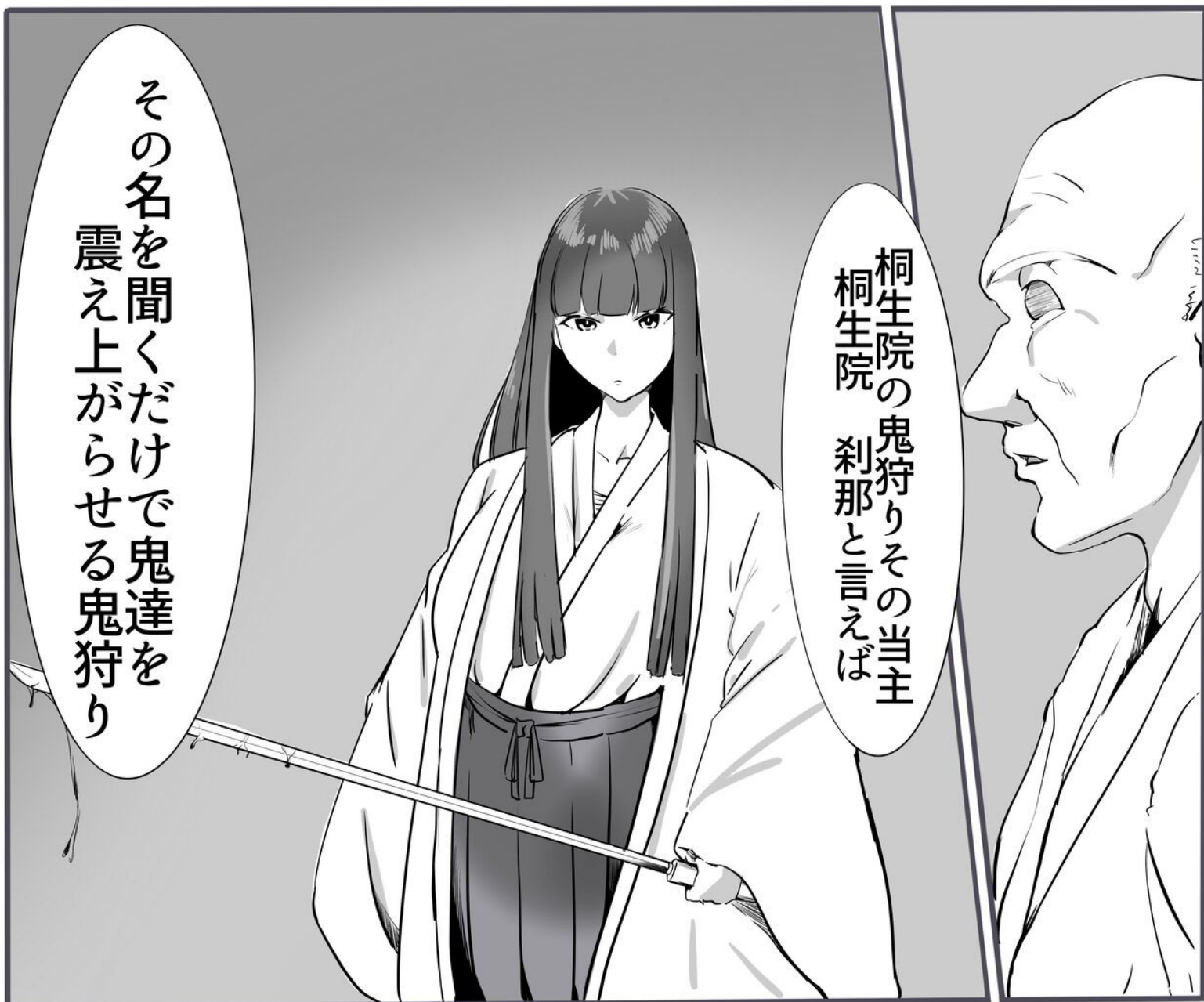
あの茶に
一服盛られたか・・・



だが何故・・・

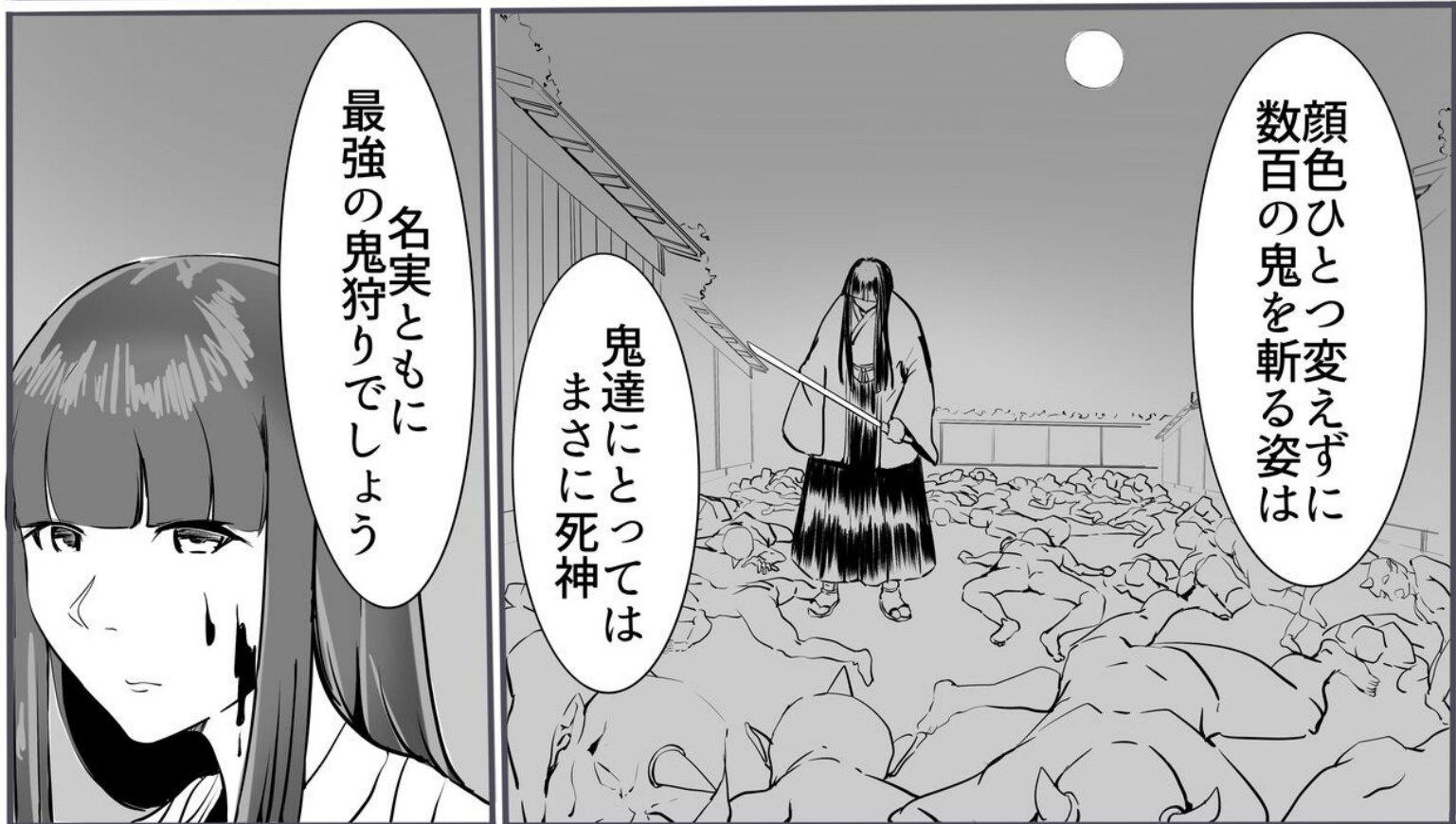


身体に力が
入らない・・・



桐生院の鬼狩りその当主
桐生院 刹那と言えは

その名を聞くだけで鬼達を
震え上がらせる鬼狩り



顔色ひとつ変えずに
数百の鬼を斬る姿は

鬼達にとっては
まさに死神

名実ともに
最強の鬼狩りでしょう

流石にそんなお方が
来たんじゃないや

森の鬼達はみんな
斬り殺されちまいます

困るんですよ
せっかく上手くやってんの

水を差して
もらっちゃ

・鬼に与^{くみ}していたのか

外道め・

人じゃありませんからねえ
・・・そもそも僕は

僕の正体に

気づかなかった
様ですな

!?

メキ
ゴ

儂は老鬼

数百年の時を
生きる鬼よ

老鬼

人に化ける鬼とは・・・

なんと面妖な・・・

儂の正体を知る者は
仲間内でもわずかじゃ

情報を上手く操作して
鬼狩りの目を欺いて来たんじや

ちなみにここは
儂の家の地下

儂以外はこの場所の
存在を知る者はいない

助けは
期待できませんぞ

・・・



命乞いはせん

とつとつと
殺すがいい



ほう・・・

当主殿の様な
良い女を前にして

ただ殺すのは
芸が有りません



流石は当主殿
肝が座って居られる
しかし・・・

・・・



素晴らしい
体をなされている

思った通り



何より男として
これほどの体を見過ぐすなど♡



たつぷりと
味あわせて貰いますよ

当主殿の体



耳が痛いすなあ

これでも多少は
知恵が回るんだがのう



呆れたものだ

何百年生きようとも
喰って犯す事しか
考えてない

進歩のない事だ

おかげで当主殿を捕らえ

こうして躰を
しゃぶる事が
できるんじゃから♡

長生きはするものじゃのう♡

チュパ♡

未だ身体は思う様に
動かない

だが直ぐに
殺さないのなら

いずれ薬の効果は切れ
反撃の機会は訪れる

それまでは
遊ばせておけばいい

チュパ♡
チュパ♡

この身体も馬鹿な鬼には

いい目眩した・・・

？何じや

随分と反応が薄いもう

乳首気持ちいいじゃろ♡
ほれ♡♡♡

残念だが私は肉の悦など
産まれてこのかた
感じたことも無い

ただ不快なだけだ

ほう・・・
それは不憫な話じゃ

これ程の肉を持ちながら

当主殿の豊満な胸は
この老ぼれの手には収まり
きれませんなあ

これ程の肉を持ちながら
肉悦を感じれないとは嘆かわしい

よく子を産めた
ものじゃ

ですがご安心ください

この老鬼
女体の事は知り尽くして
おります故

当主殿の堅く閉ざした
軀と心

儂が華開かせて
見せましょう

儂も女は数多く抱いて来ました

その経験から女を
悦に墮とす術も心得ております故

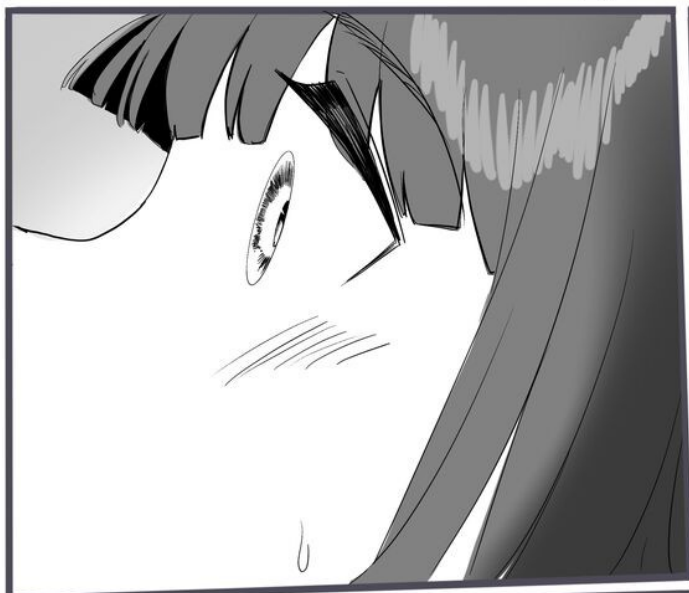
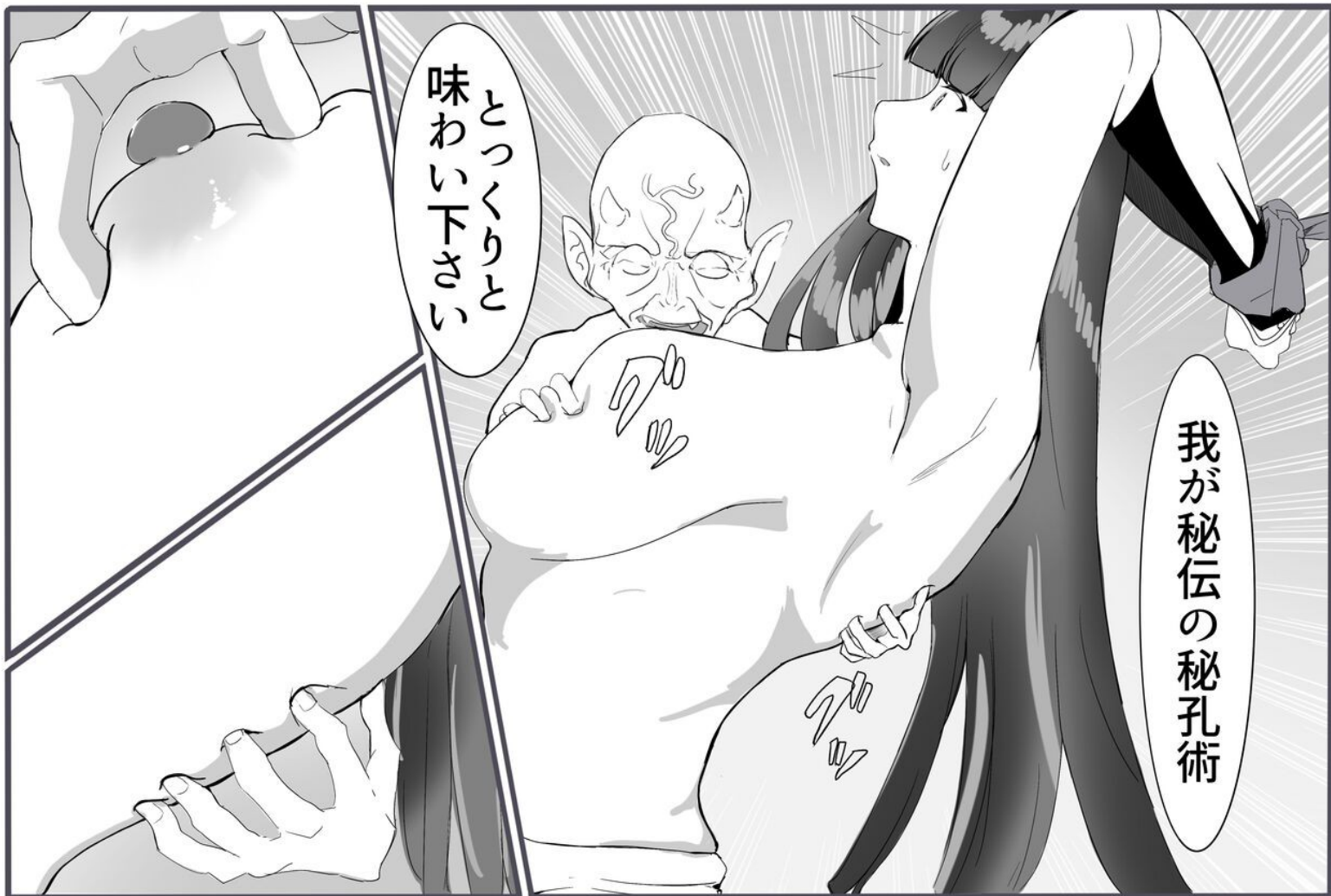
当主殿が今何を考えているの
儂に手にとる様に分かりますぞ

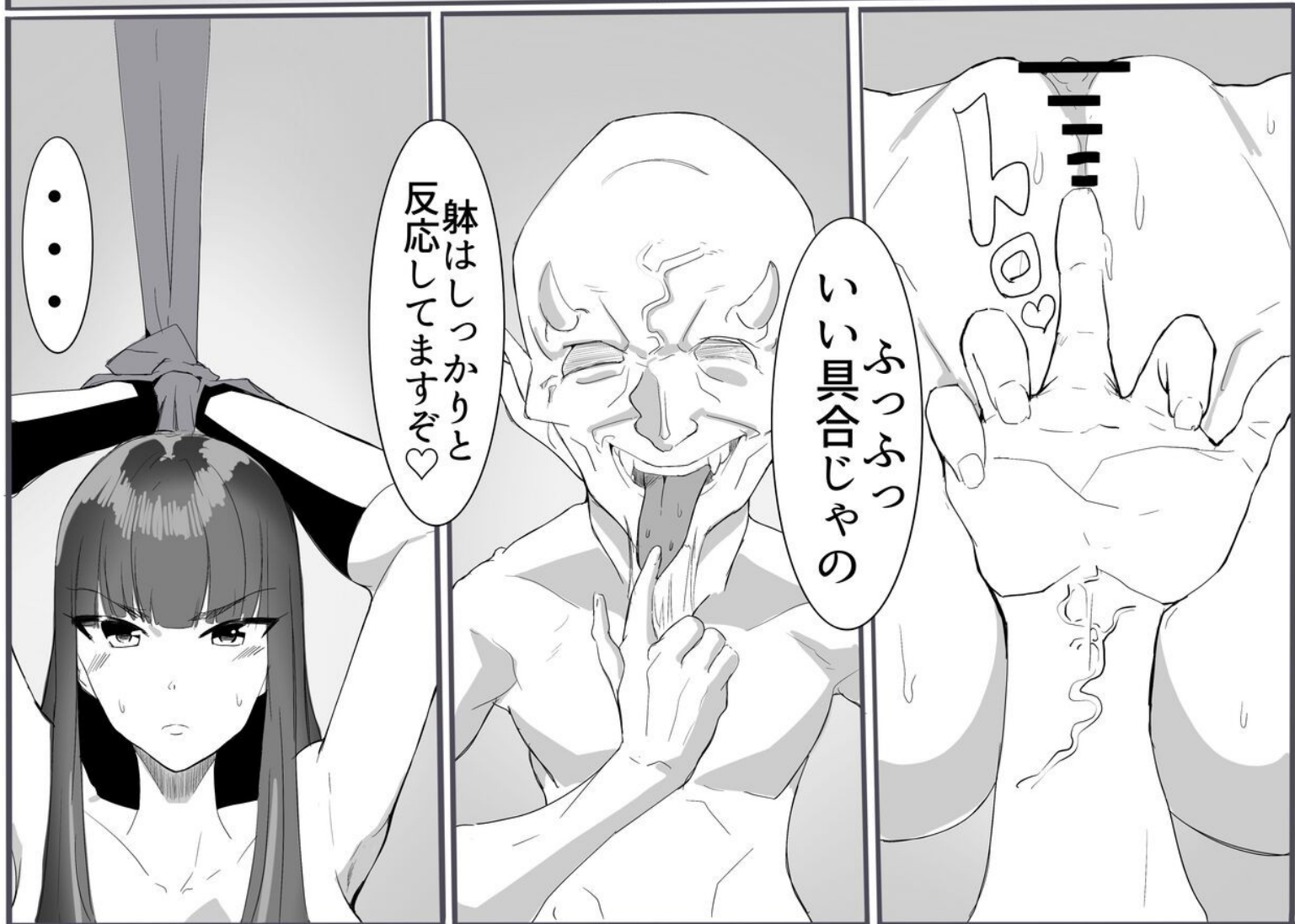
適当に躰で遊ばせて
薬の効果が切れるのを
待っているのでしょうか

躰が動けば
儂の制圧など容易いと

当主殿♡

残念ですが
そんな隙は与えませんぞ



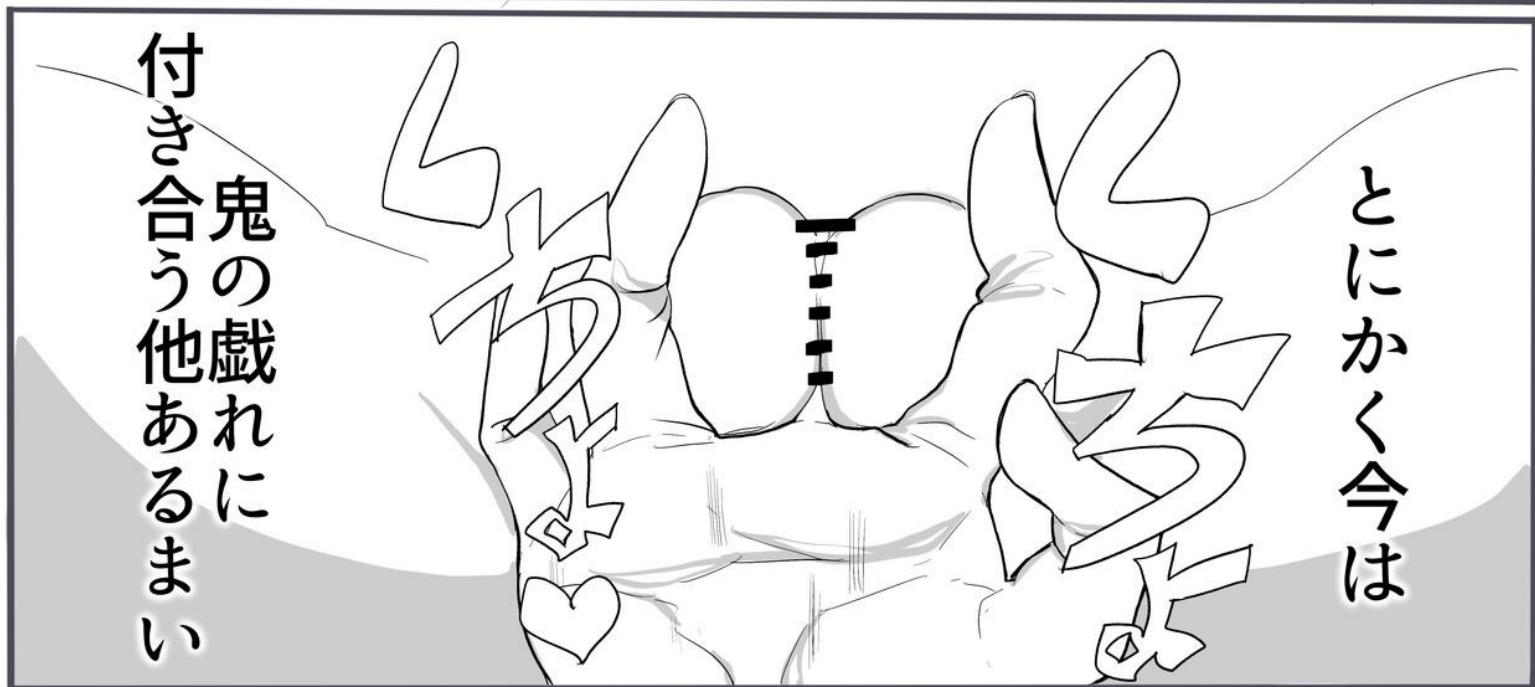




そんなもので
人の身体をどうこう
出来るものか

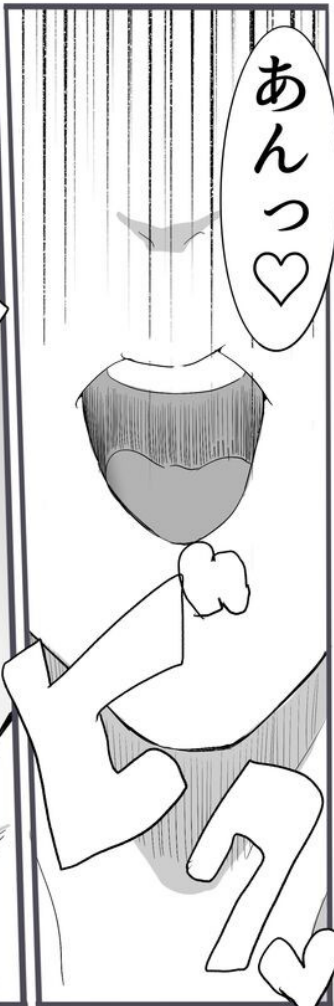
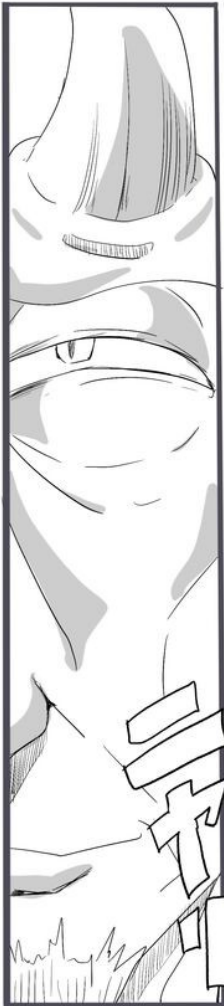
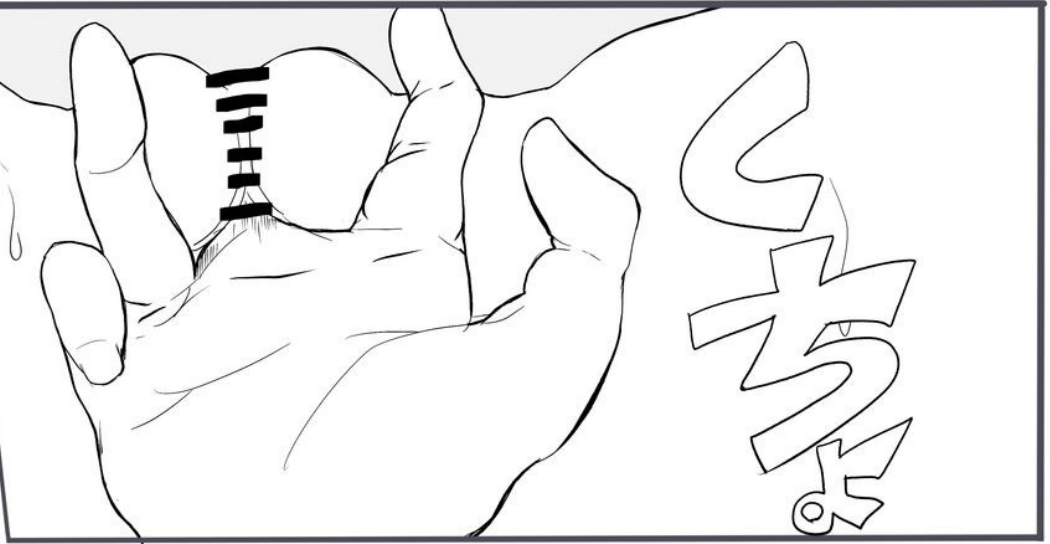
くだらない

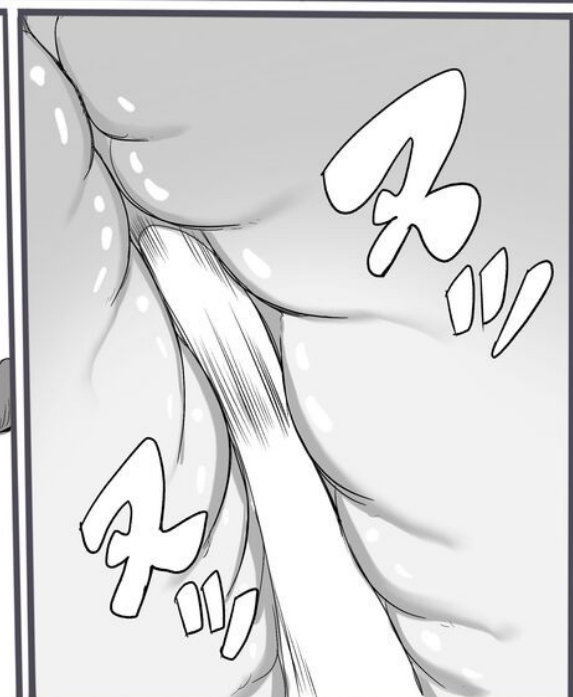
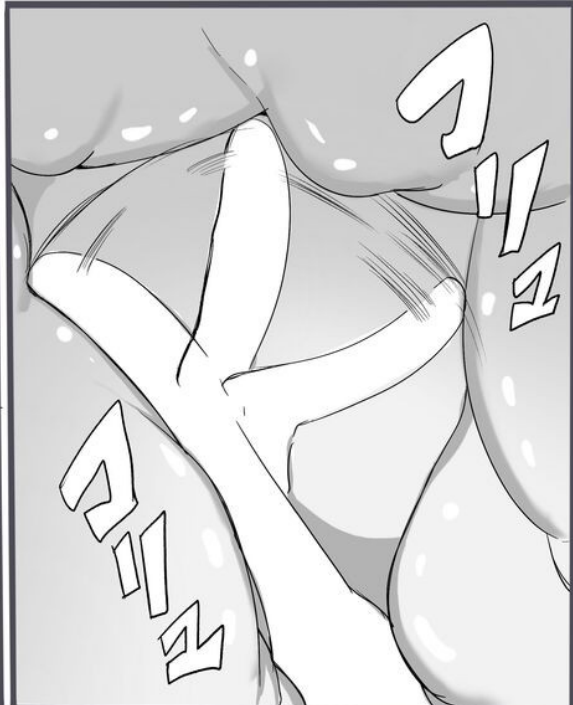
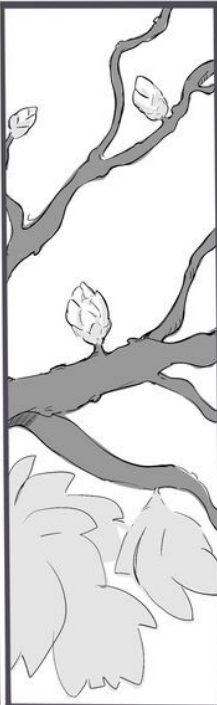
秘孔術・・・？

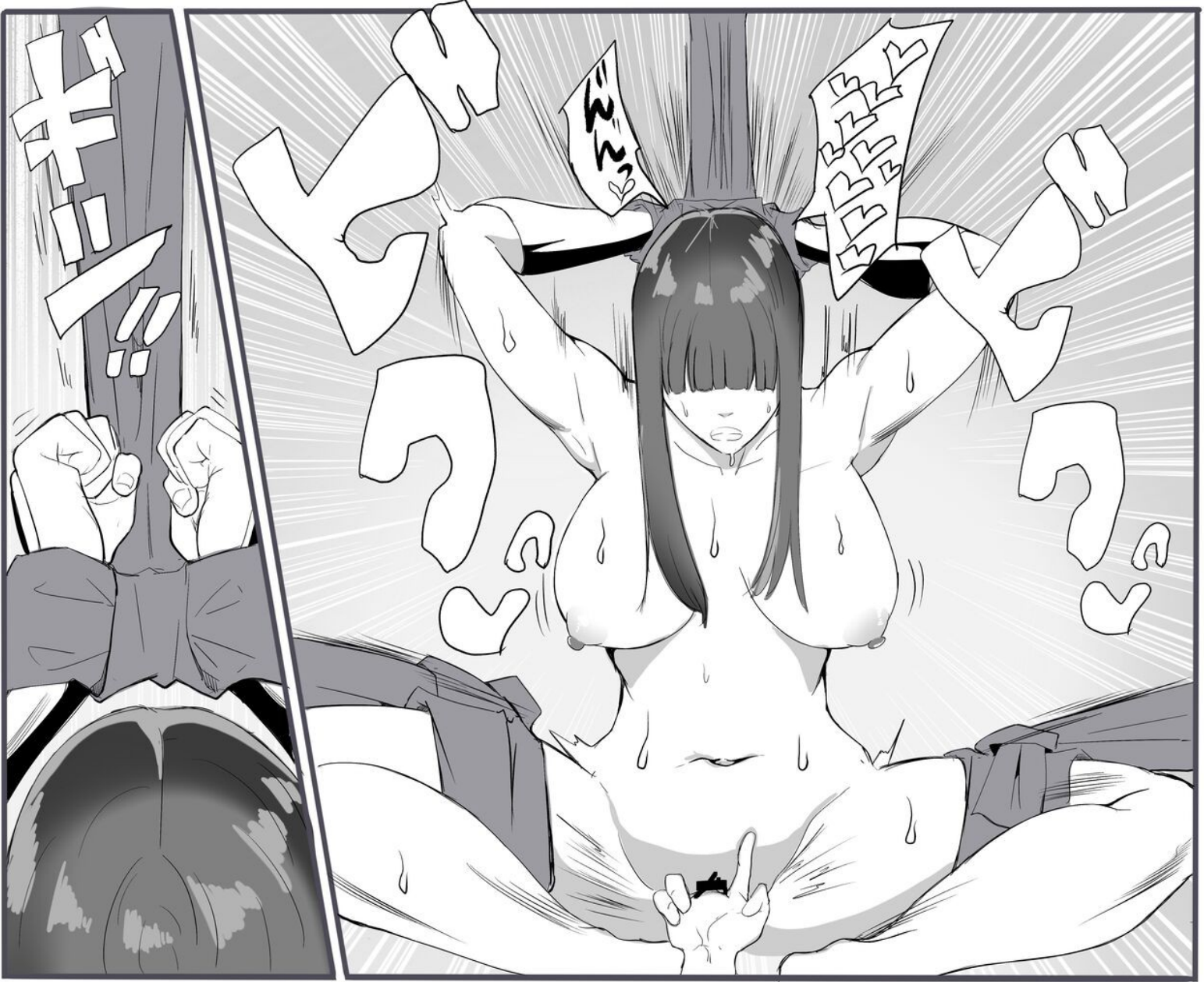


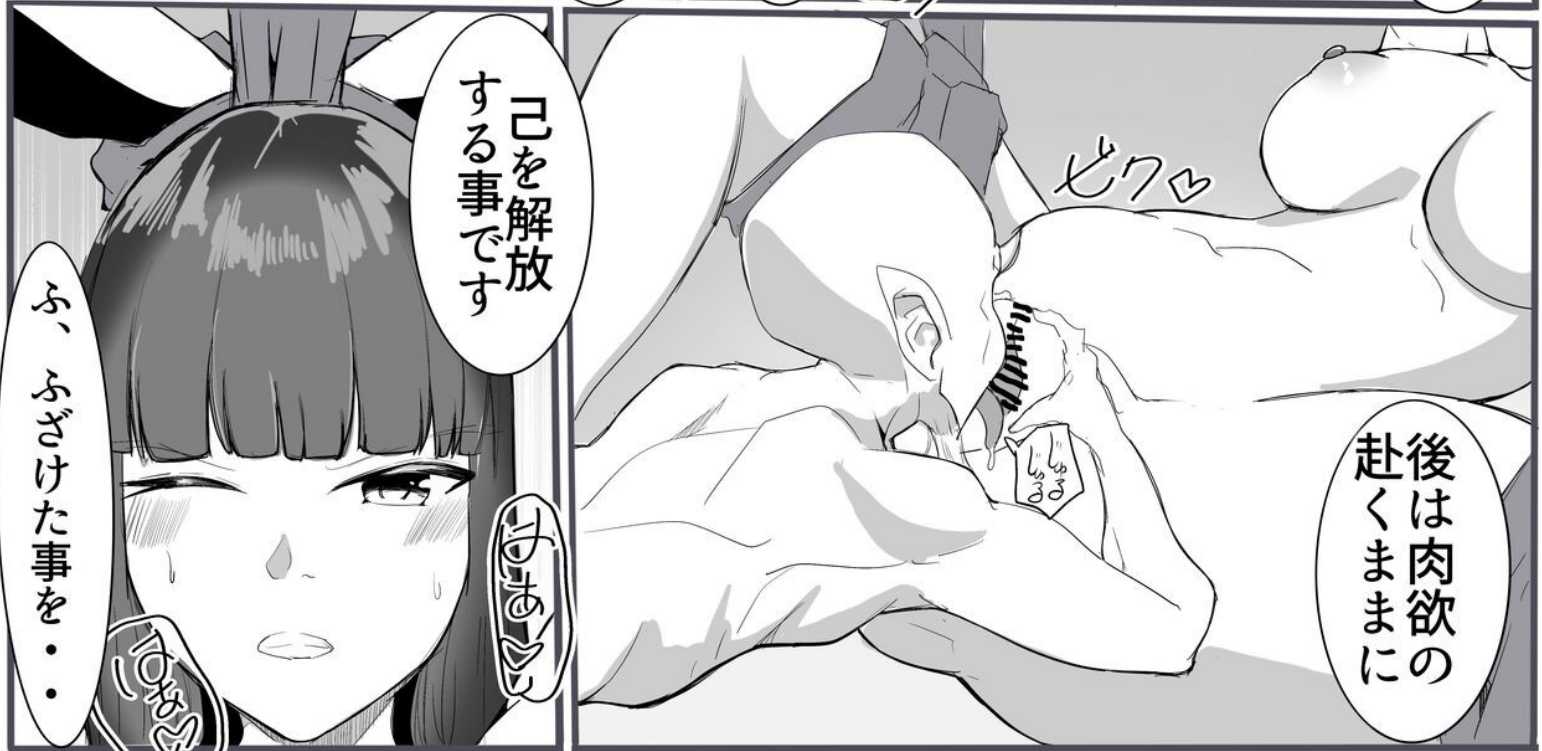
とにかく今は

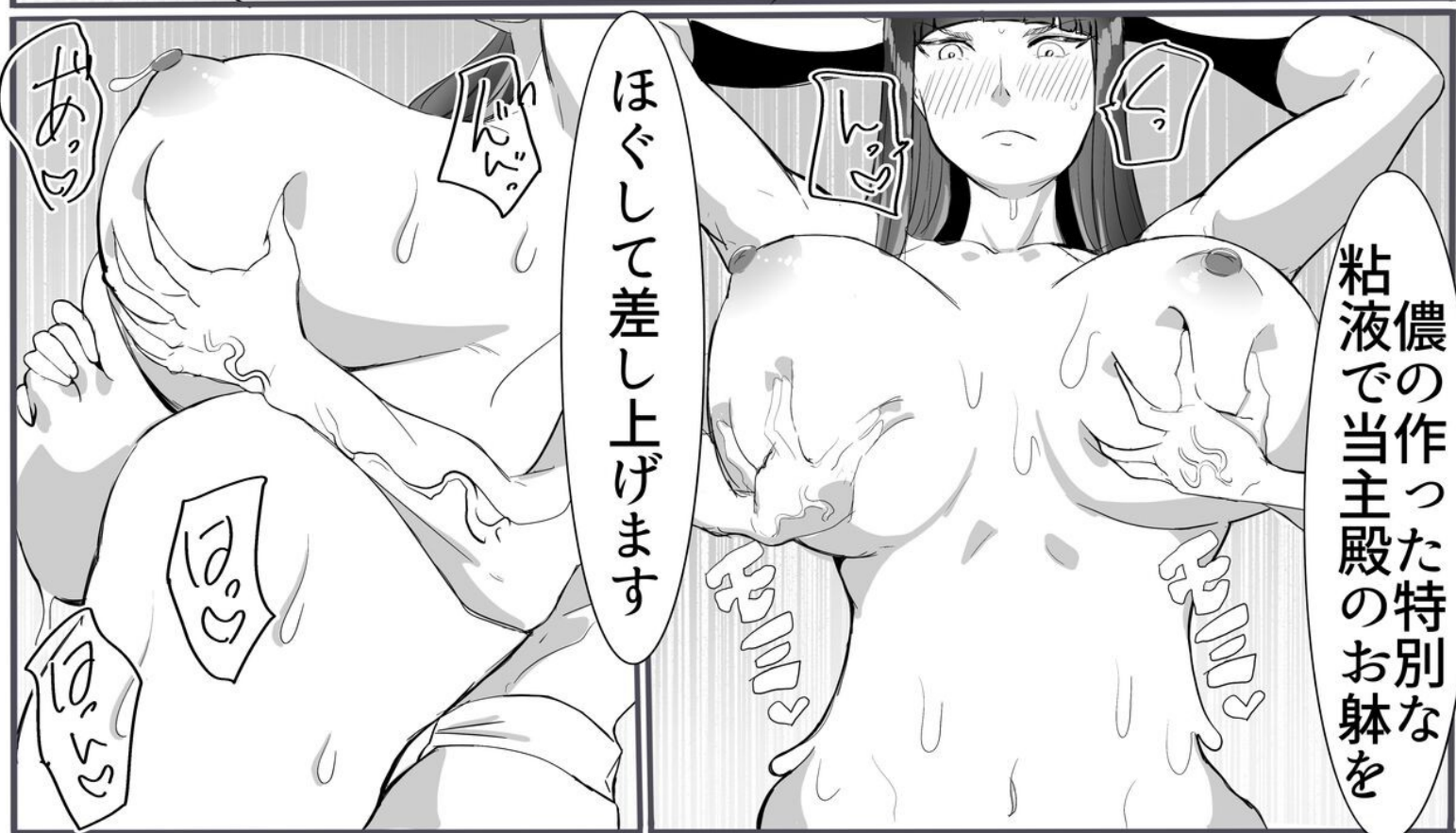
鬼の戯れに
付き合う他あるまい



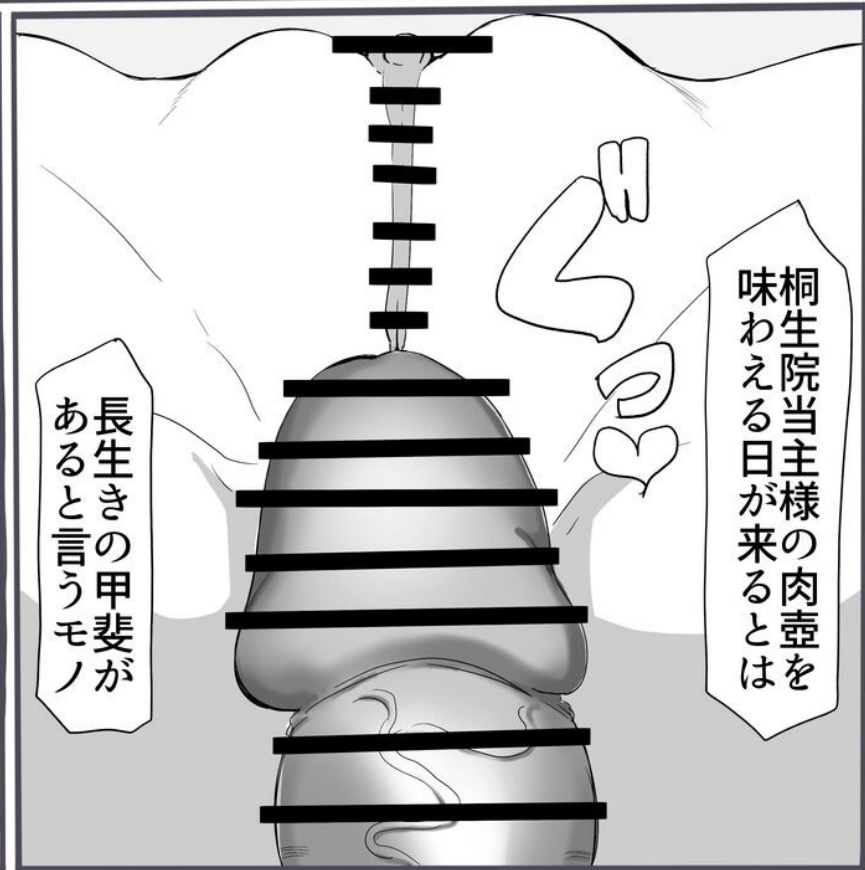


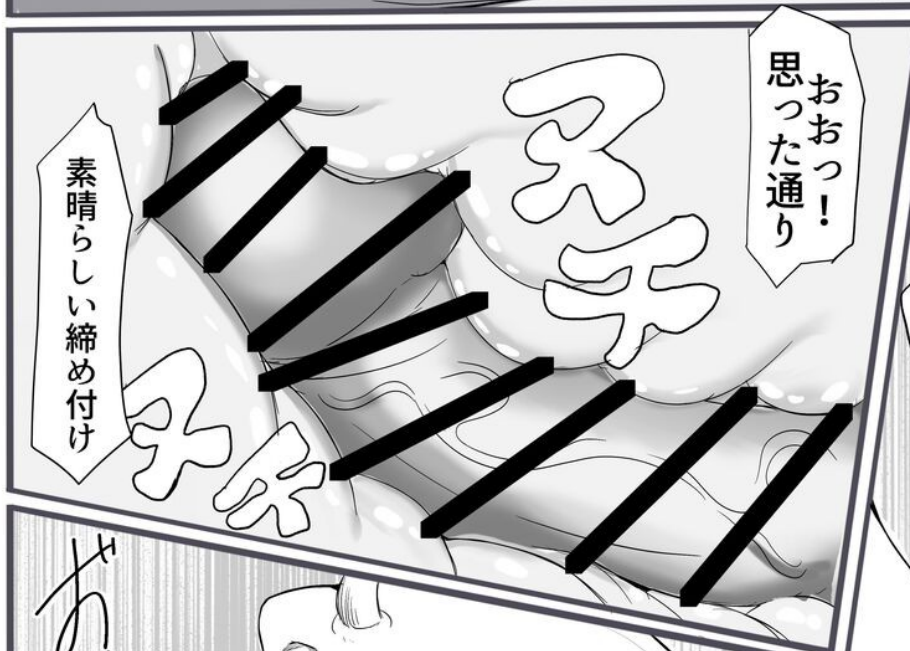
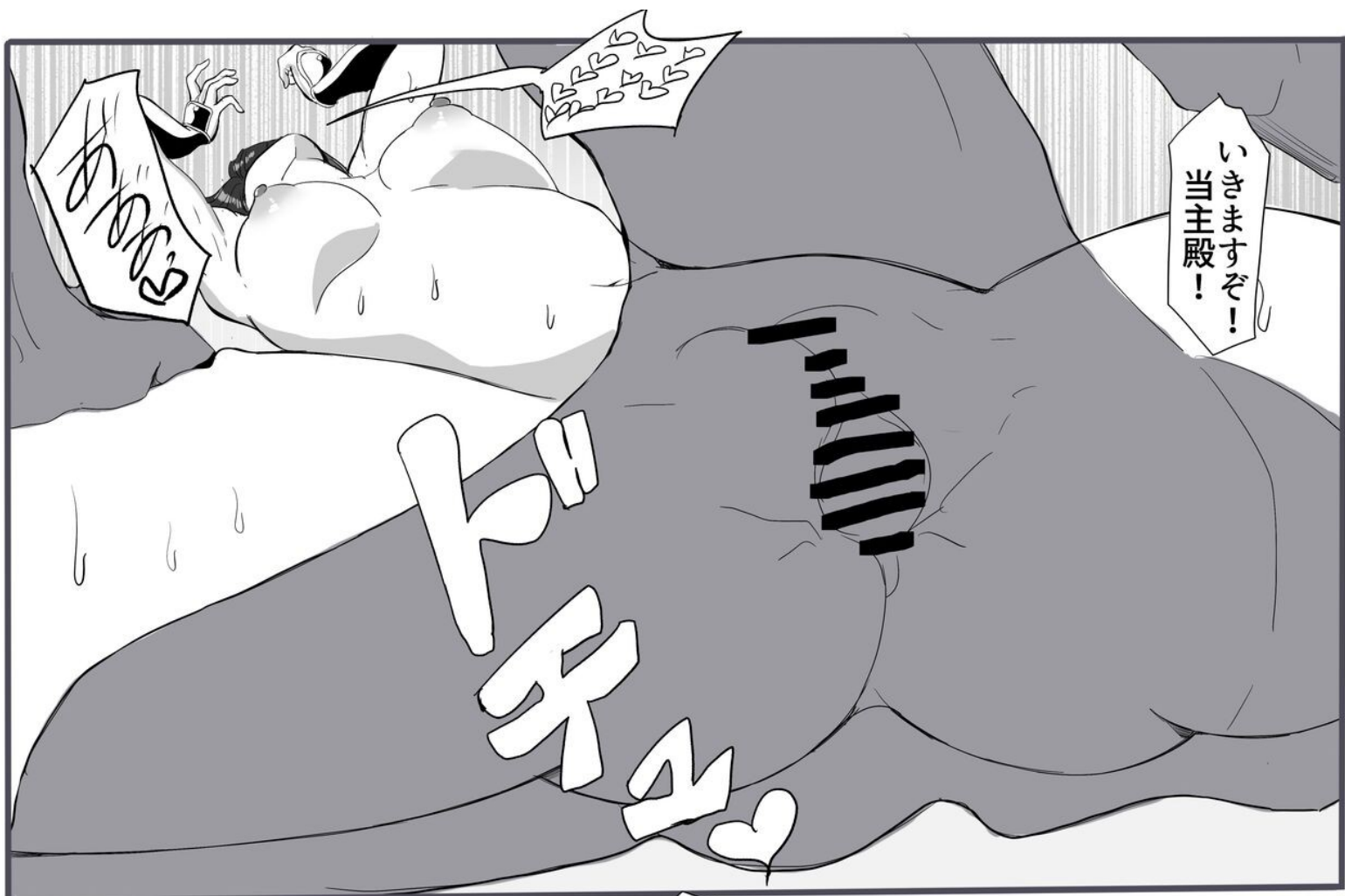






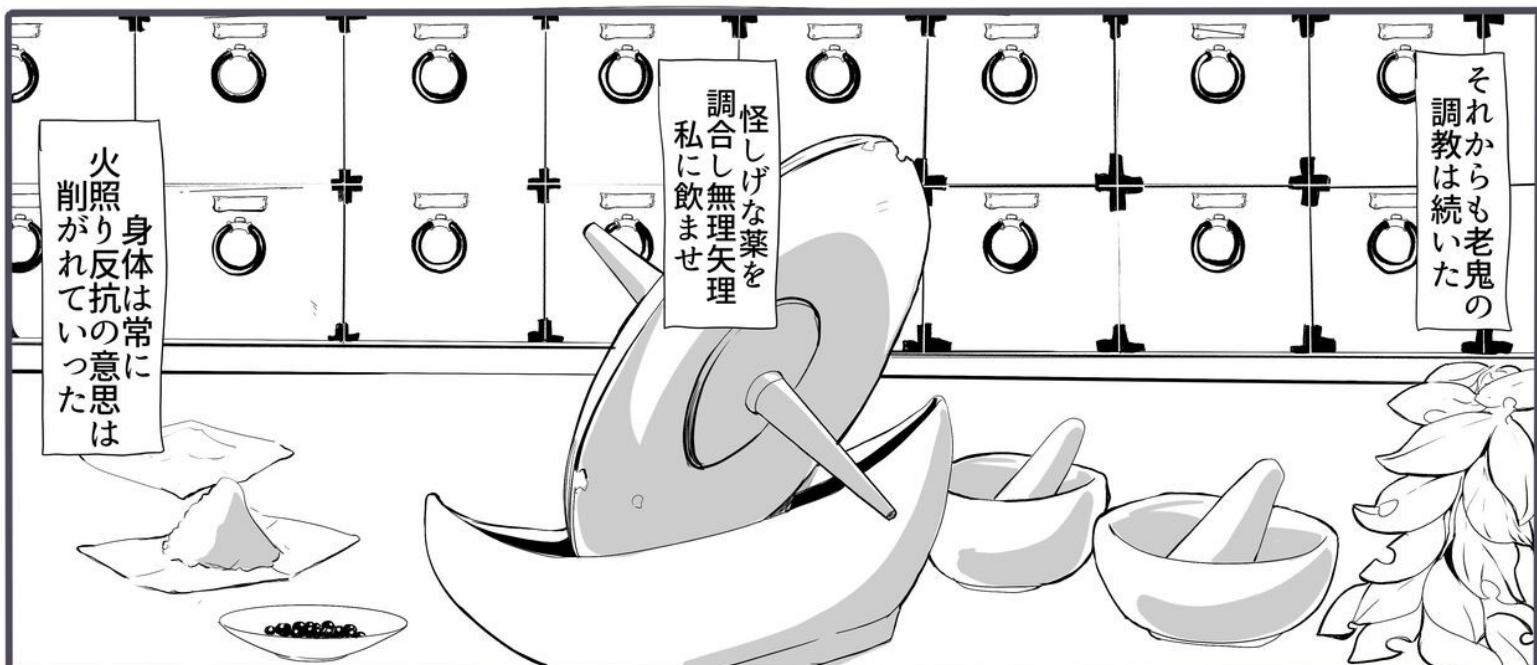


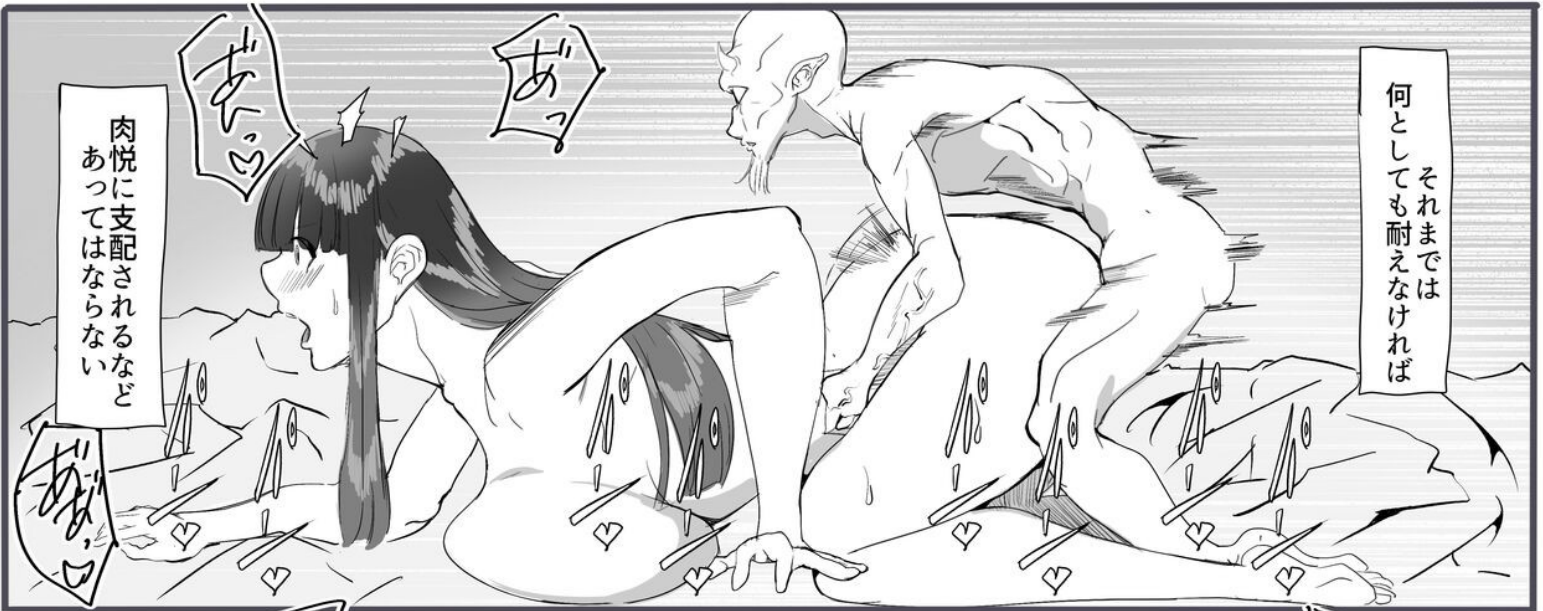






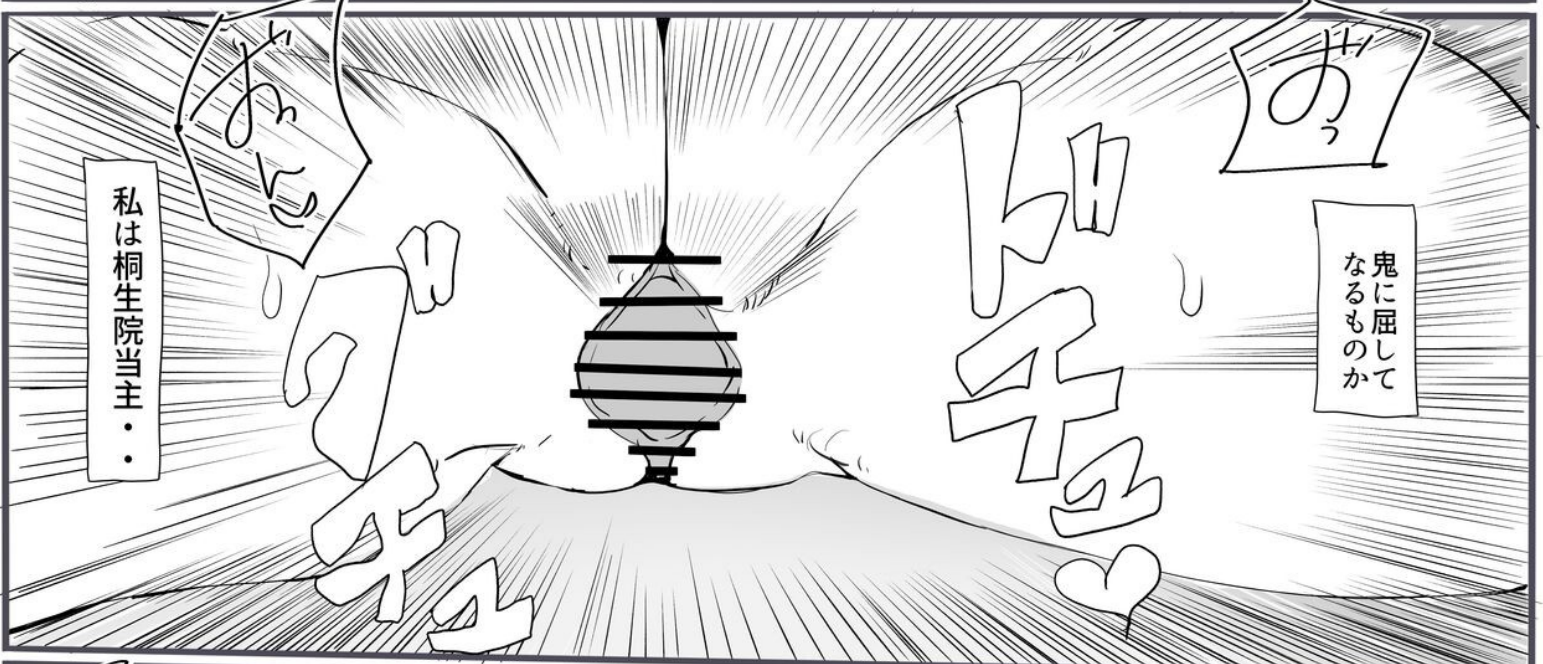






それまでは
何としても耐えなければ

肉悦に支配されるなど
あつてはならない



鬼に屈して
なるものか

私は桐生院当主・・・



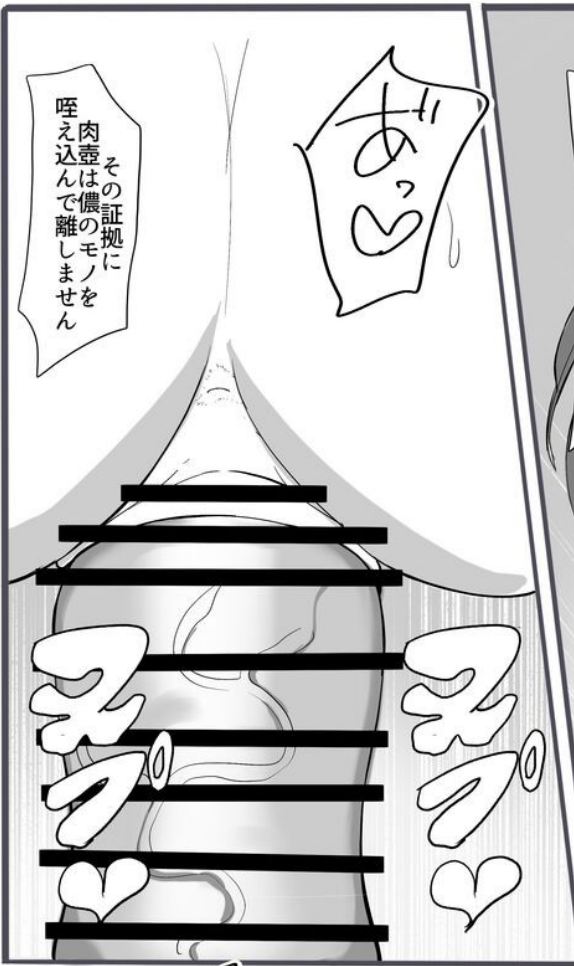
俺の肉棒が
だいぶ馴染んできた
様ですな

ふざけるなっ
な、馴染んでなんかない



誇り高い・・・名門
桐生院の・・・鬼・・・狩り

あーあーあー







だします
射精ぞ!当主殿
お口で受け止めてくださいされ!



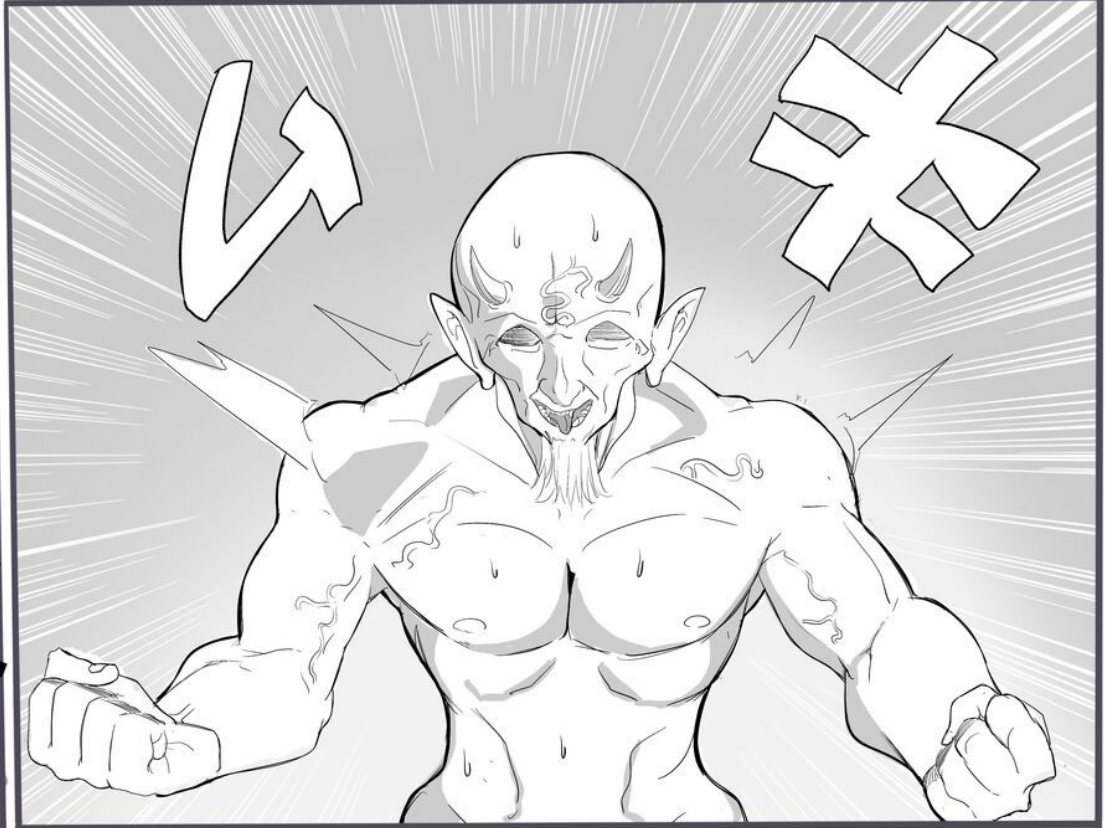
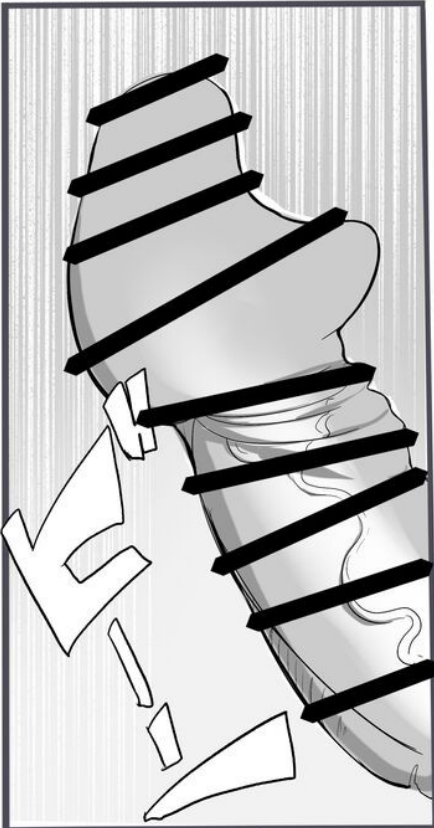
調子にのりおって

おのれ...

はぁー♡

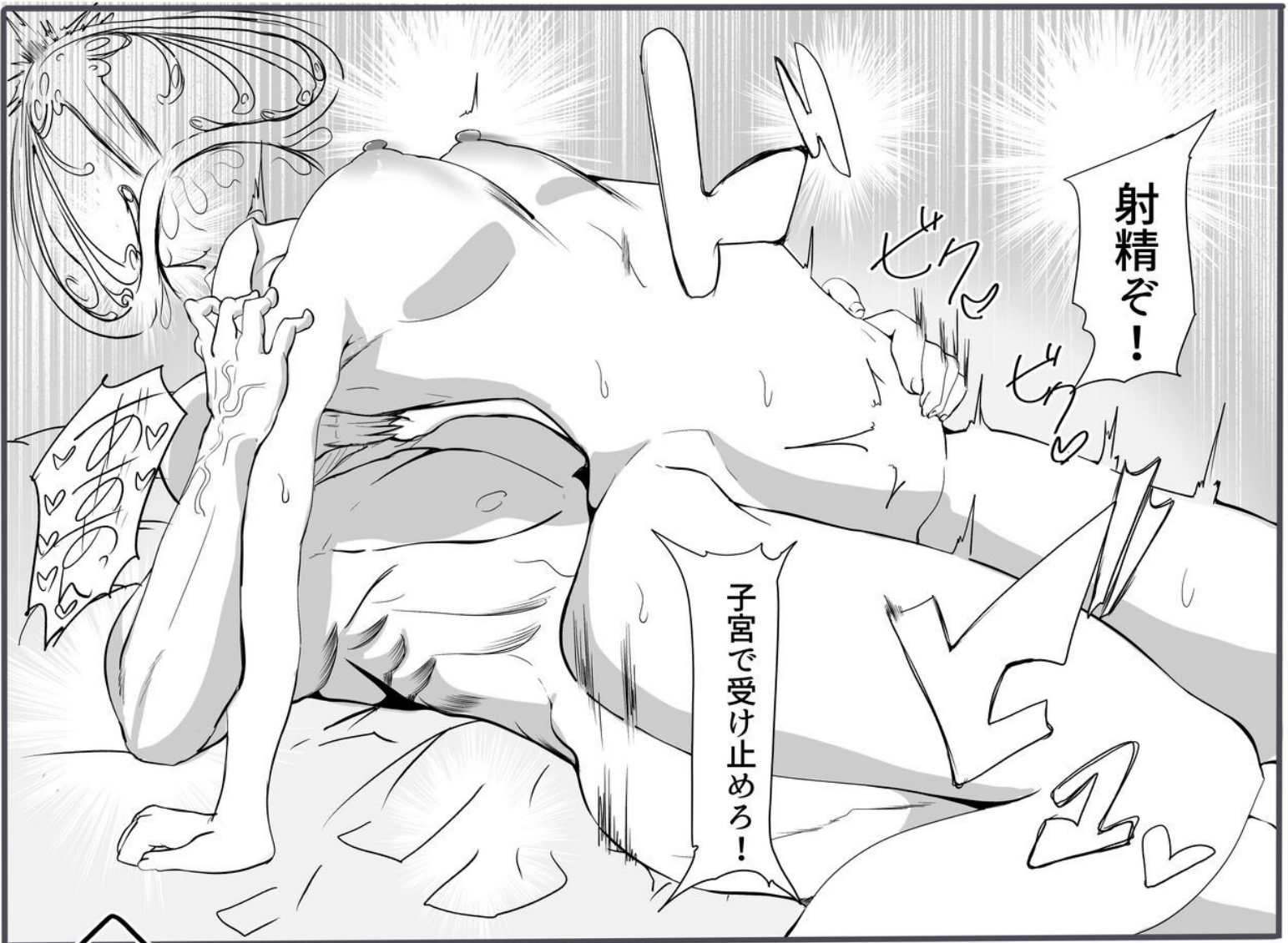
はぁー♡

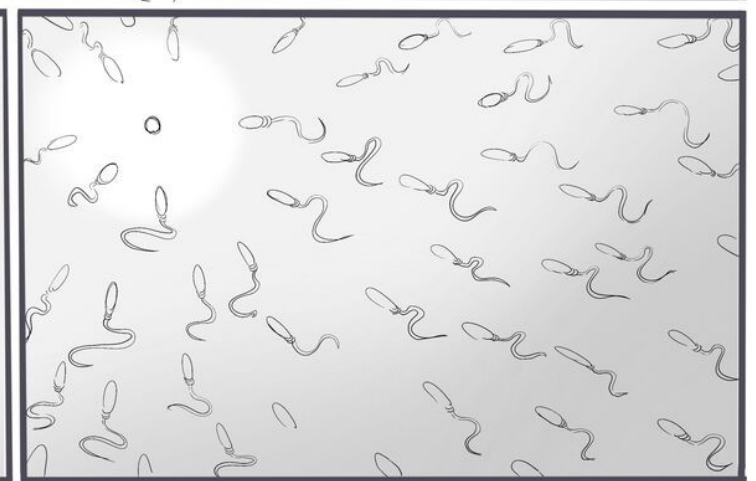
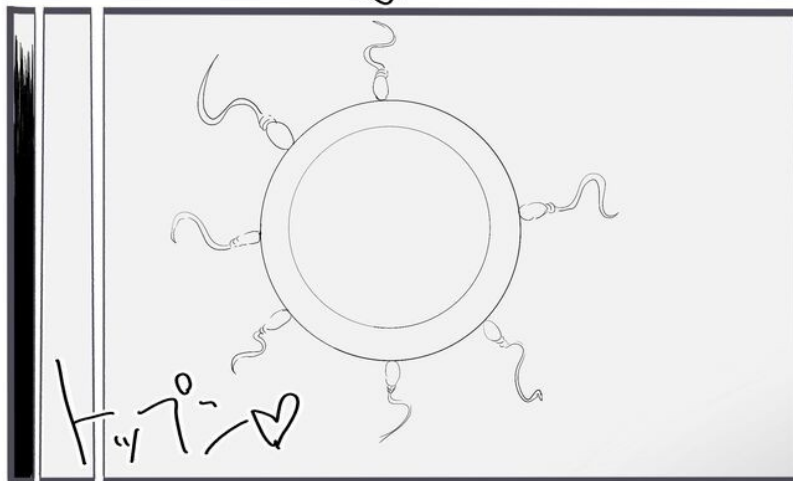
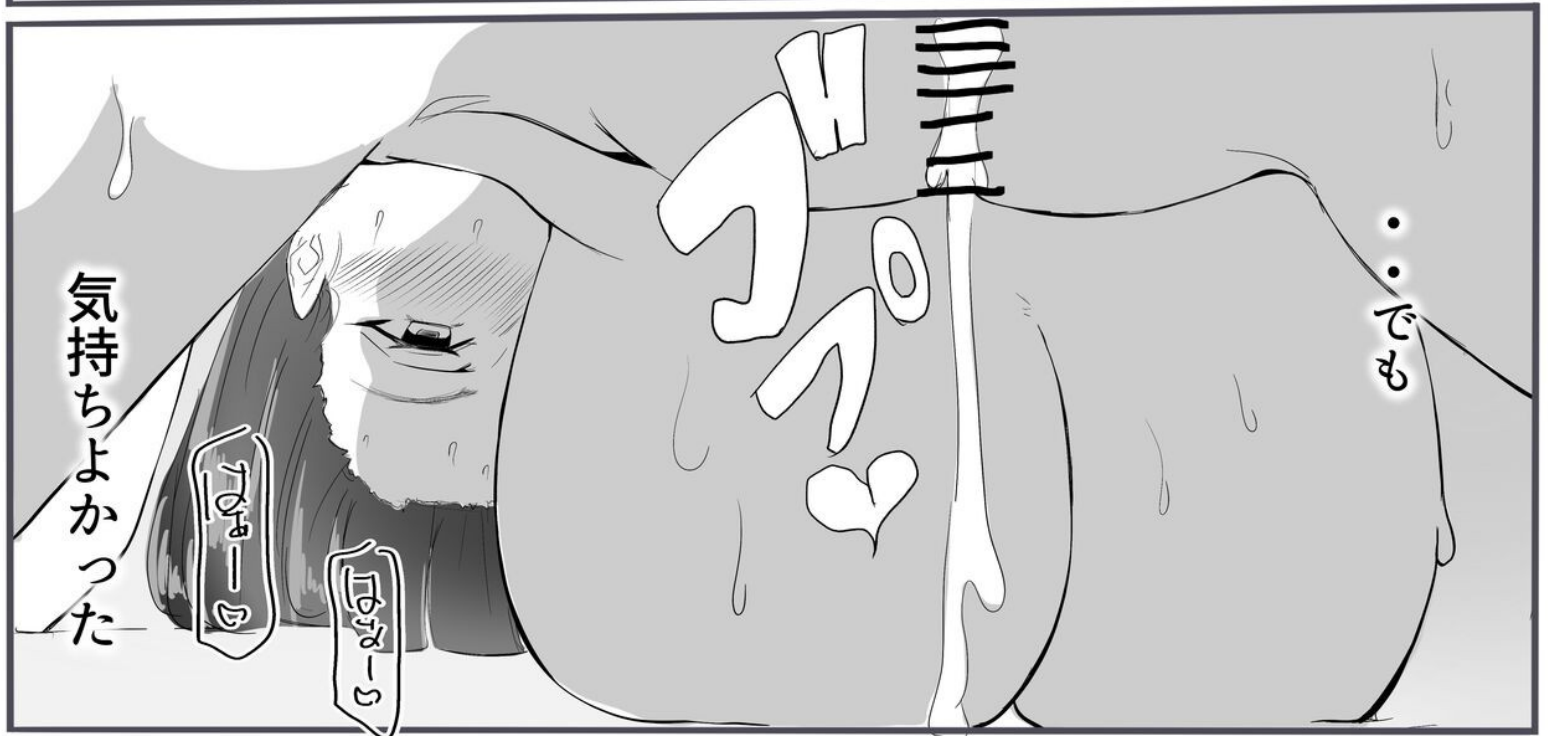
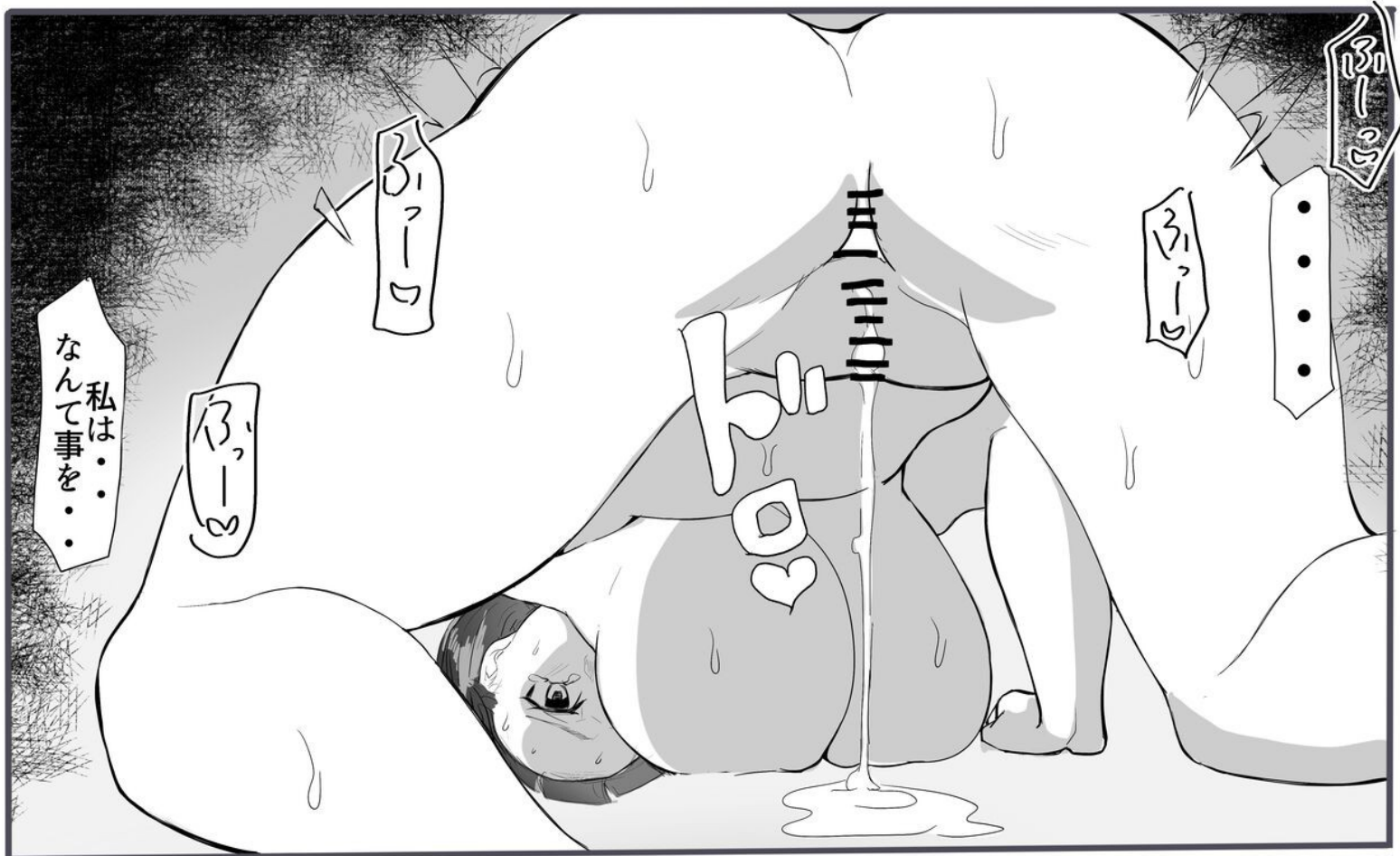
はぁー♡

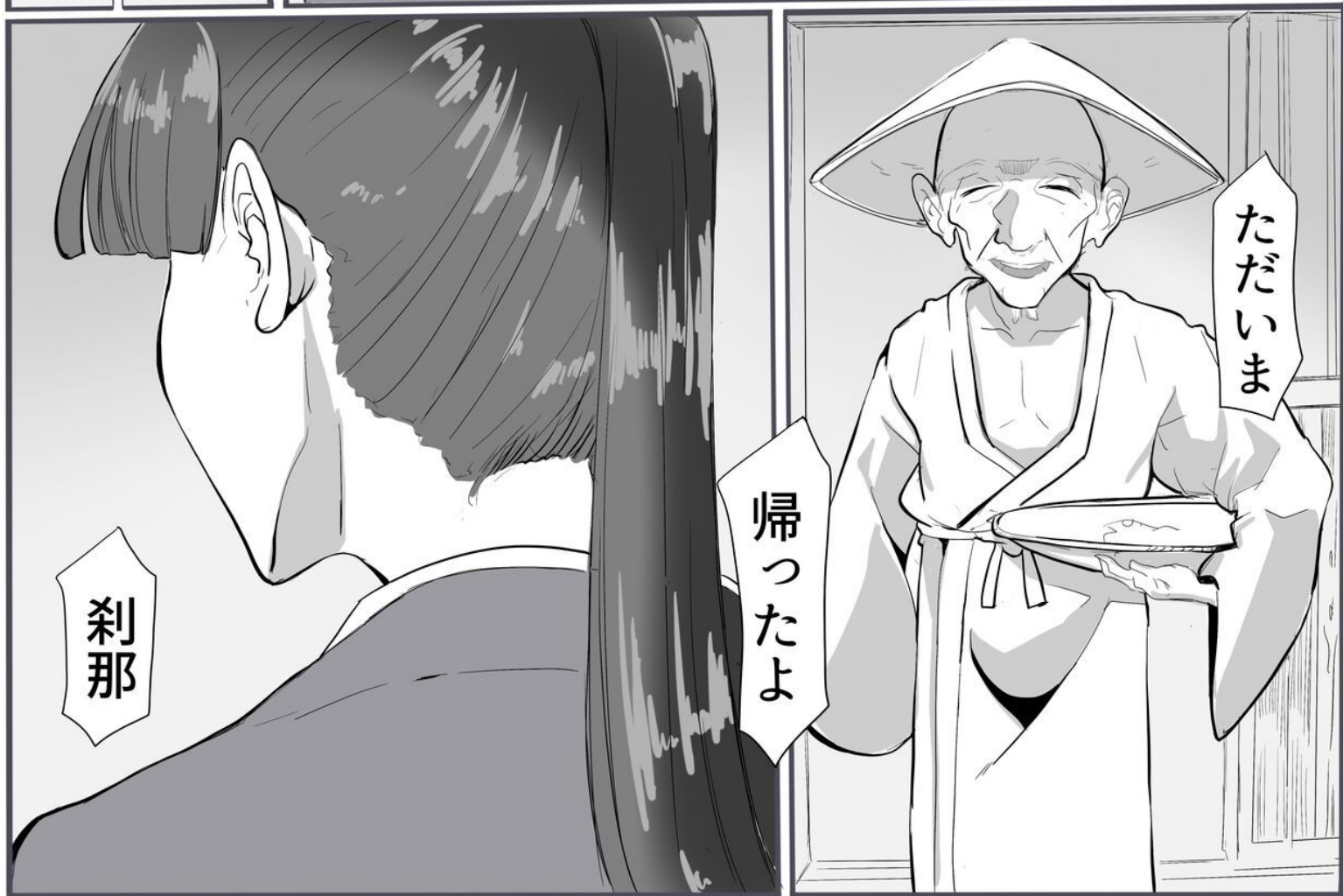
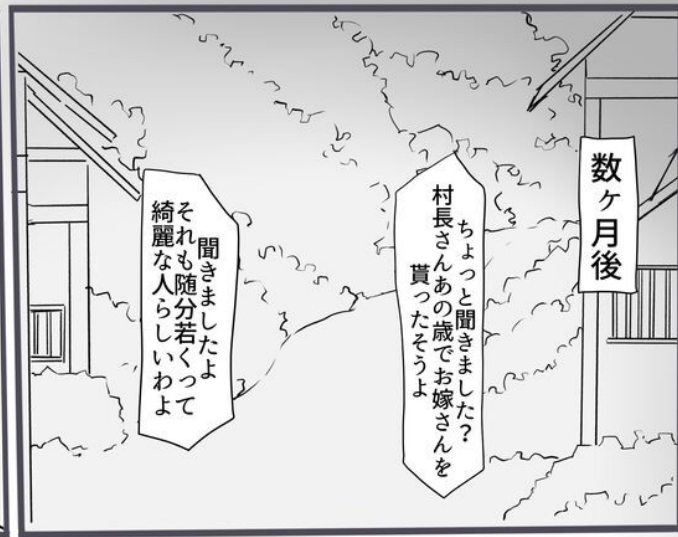


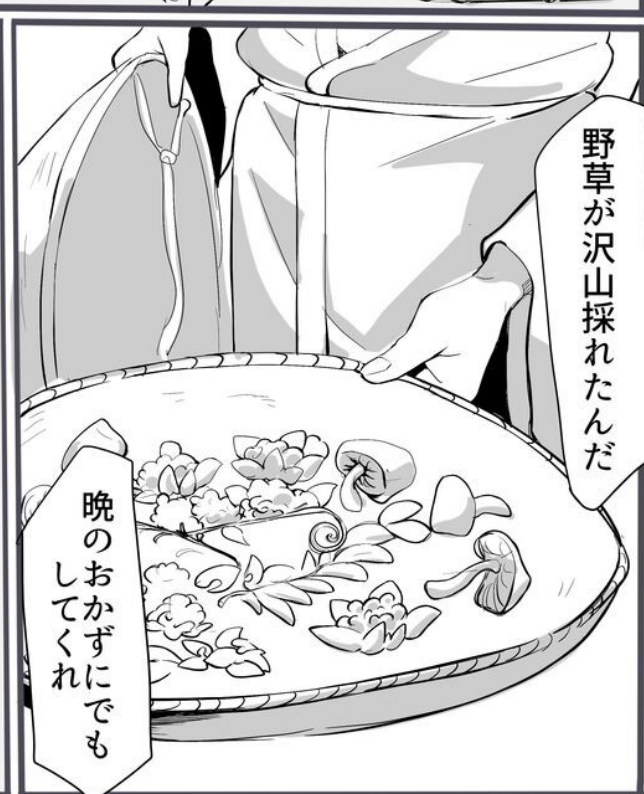


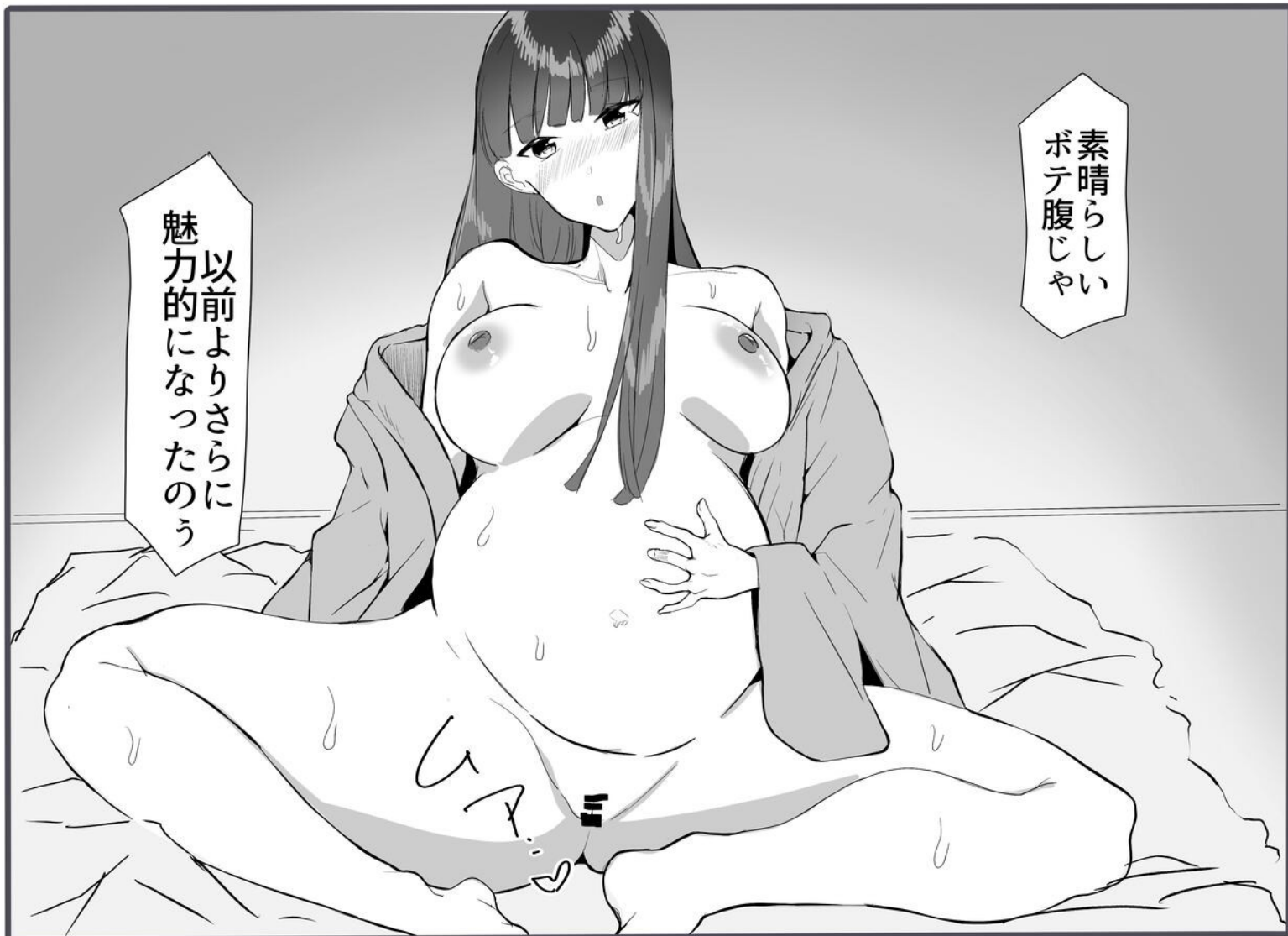












素晴らしい
ボテ腹じゃ

以前よりさらに
魅力的になったのう

うア、三



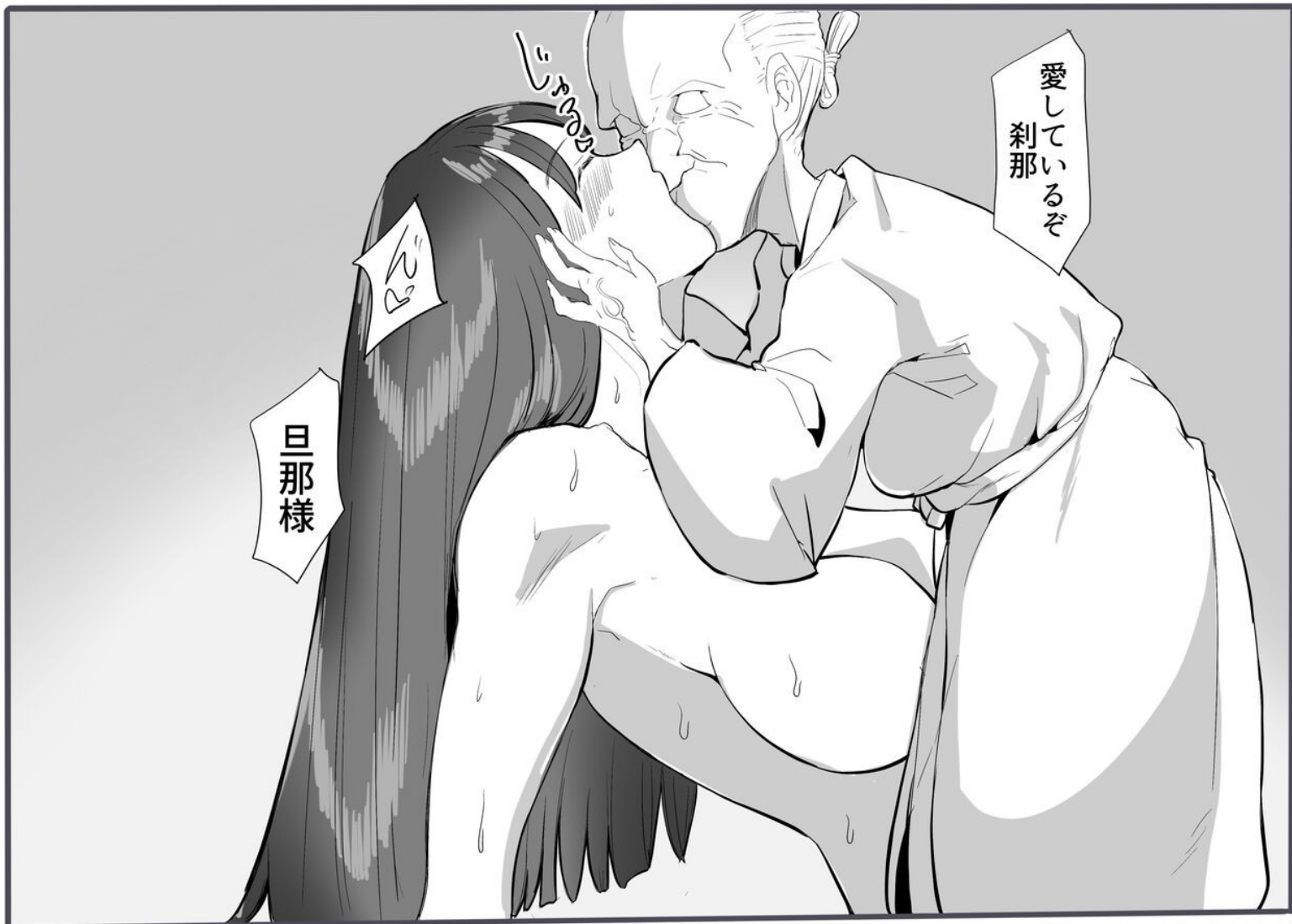
ここで儂と
静かに暮らそう

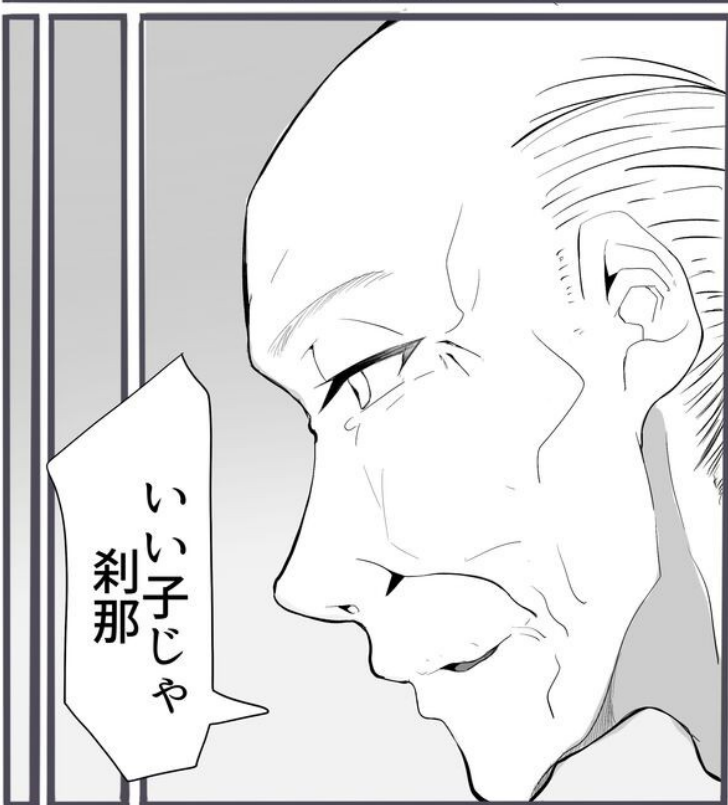
お前は女房として
儂のそばに居れば良い



刹那お前はもう
儂のモノじゃ

剣を捨て
鬼狩りとは二度と
関わるなよ





最強の鬼狩りは老鬼の
策略によりただの女となった刹那

肉欲に溺れて
鬼達にその身を
貪られる未来が待っていた

大

完

